

第90期 中間株主通信

平成27年4月1日~平成27年9月30日





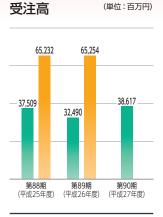
株式会社イチケン

証券コード:1847

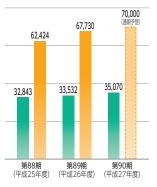
主な経営指標の推移







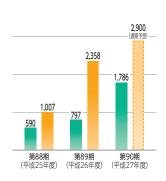
売上高 (単位:百万円)



手持工事高 (単位:百万円)



営業利益 (単位:百万円)



経常利益 (単位:百万円)

四半期(当期)純利益(単位:百万円)

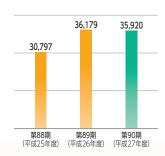
総資産

(単位:百万円)

純資産/1株当たり純資産









当中間期決算のポイント

- Point 1 商業施設の受注が順調に推移したことなどにより、受注高は386億1千7百万円(前年 同期比18.9%増)となりました。
- Point 2 完成工事高の増加や低採算工事の減少などにより、営業利益は17億8千6百万円 (前年同期比124.0%増)となりました。
- Point 3 四半期純利益14億8千万円を獲得したことにより、純資産は103億3千万円(前期末比11億8千5百万円増)となりました。

トップ・インタビュー

ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第90期中間期における営業のご報告にあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

当中間期におきましては、技能労働者不足や労務費及び資材価格の高止まりなど、建設業界を取り巻く環境が依然として予断を許さない状況が続くなか、当社はコア事業である「商業施設」の建築及び内改装工事に重点的に取り組むとともに、住宅や介護施設等の受注活動にも継続的に取り組んでまいりました。

この結果、売上高及び各利益ともに当初の予想を大幅に上回ることが出来ました。 当社を取り巻く経営環境は今後も予断を許さない状況が続くものと予想されますが、 株主の皆様のご期待に応えるべく、社員一同一丸となってさらに努力する所存でございます。 株主の皆様にはより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年12月



代表取締役社長 長谷川 博之



当中間期の決算のポイントなどについて 教えてください。



売上高及び各利益とも当初の予想を 大幅に上回る結果となりました。

当中間期の業績につきましては、売上高は、商業施設の完成工事高の増加等により350億7千万円(前年同期比4.6%増)となりました。

損益につきましては、完成工事高の増加や低採算工事の減少による利益率の改善などにより完成工事総利益が増加したため、営業利益は17億8千6百万円(前年同期比124.0%増)、経常利益は17億5百万円(前年同期比122.4%増)となりました。また、特別利益に固定資産売却益1億4百万円を計上したことなどにより、四半期純利益は14億8千万円(前年同期比163.4%増)となりました。

また、当中間期における財政状態は、資産合計が前期末に比べ2億5千9百万円減少し、359億2千万円となりました。主な内容は、工事完成基準適用の手持工事の発生原価の減少等による未成工事支出金の減10億2千8百万円であります。

負債合計は前期末に比べ14億4千4百万円減少し、255億8千9百万円となりました。主な内容は、工事完成 基準適用工事の受入金の減少等による未成工事受入金の 減8億8千1百万円であります。

純資産合計は、前期末に比べ11億8千5百万円増加し、103億3千万円となりました。主な内容は、利益剰余金が前期に係る期末配当を行ったことにより2億5千1百万円減少したものの、当中間期において四半期純利益14億8千万円を獲得したためであります。

トップ・インタビュー



社長の抱負をお聞かせください。



社会的課題にもさらに積極的に取り 組み、『新しいイチケン』を目指して まいります。

当社は、今年創立85周年を迎えました。今後とも経営 ビジョンである「より豊かで快適な『くらし空間』を創造する ことで広く社会へ貢献する企業 | 足りえるよう努力を続けて まいります。

時流にあわせ、建設業に求められるニーズも多様化して いる近年、お客様の要請はもちろんのこと、地球環境への 配慮、耐震建築、建物のライフサイクルコスト等、社会からの 要請にも応えられる建物の提供が求められています。

当社はこうしたニーズに応えていくために、従前から 培ってきた「商業施設」の新築工事や内改装工事を中心と した建設事業のノウハウや企画・提案力を生かし、商業施設 のみならず、住宅やホテル、介護施設、スポーツクラブ・

アミューズメント施設まで、さらに幅広く積極的に受注活動 に取り組んでまいります。

また、総合建設業者として、企画、設計から監理、施工、そし てアフターメンテナンスまで、ワンストップで対応可能な体制 をさらにお客様にご満足いただけるよう整備してまいります。

さらに、地球環境への配慮、耐震建築、建物のライフサイ クルコスト等の社会的要請に応え、株主様、お客様を含む 様々なステークホルダーからの信頼を得るために、品質マネ ジメントシステム(ISO9001)のさらなる積極的運用、 低炭素社会や循環型社会の実現に向けた環境マネジメント システム(ISO14001)の適用事業所を拡張するほか、安全 衛生環境の向上に向けた建設業労働安全衛生マネジメント システム(COHSMS)を全社に展開しております。

また、これらの活動を通じた技術や品質レベルの向上に より、現場力を強化するとともに、協力会社の皆様とのさら なるパートナーシップの強化にも取り組んでまいります。

これらの持続可能な成長に向けた取り組みに果敢に 挑戦し、創立100年に向けて『新しいイチケン』を目指して まいります。





上場会社の新たな行動規範であるコーポ レートガバナンス・コードへの対応状況につ いて教えてください。



企業価値の向上を目指し、効果的な コーポレートガバナンス体制の維持・ 向上に努めてまいります。

当社は、効果的なコーポレートガバナンス体制を構築、維 持・向上させることが重要な経営課題の一つと考えており、 次の基本方針に沿ってコーポレートガバナンスの充実に 努めてまいります。

- (1) 株主の権利を尊重し、株主の実質的な平等性の確保に 努めます。
- (2) 株主以外のステークホルダーの権利・立場を考慮し、 これらのステークホルダーとの適切な協働に努めます。
- (3) 適切な会社情報の開示と透明性の確保に努めます。
- (4) 取締役会は、株主に対する受託者責任・説明責任を 踏まえ、独立した客観的な立場から経営陣に対する 実効性の高い監督機能の発揮に努めます。
- (5)株主との建設的な対話に努めます。

なお、当社が策定したコーポレートガバナンスに係るガイ ドラインは当社ウェブサイト(http://www.ichiken.co.jp) に掲載いたしております。





株主還元など、株主の皆様へのメッセージ をお願いします。



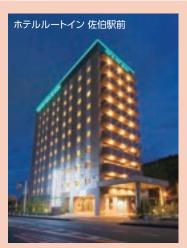
今後とも一層のご理解とご支援を 心よりお願い申し上げます。

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化による 企業価値の向上と、株主様への直接的な利益環元である 配当の安定的な実施に重点を置き、利益の配分に際しては、 今後の成長・拡大に備えた内部留保の充実を勘案して決定 することを株主環元の基本方針としております。

なお、当期(通期)は売上高及び各利益ともに当初の予想 を上回る見込みであることから、上記の基本方針に基づ き、当期の期末配当予想を1株当たり8円に増額修正させ ていただきました。

今後も株主の皆様のご期待と信頼に応えられるよう邁進 してまいりますので、今後とも一層のご理解とご支援を 賜りますよう、心よりお願い申し上げます。





ICHIKEN ワークス

イチケンが創造するより豊かで快適な『くらし空間』

基本構想からマーケティング、そして設計・施工の空間づくりに関わるすべての業務を一貫して高い品質で創造する こと。それが私たちイチケンの什事です。それはイチケンならではの蓄積されたノウハウ、広いネットワークに支えられて います。当社は、品質の向上と安全の徹底に努め、いかなるときもクリエイティビティを発揮し、より豊かで快適な『くらし 空間」の実現を目指します。





●東急スポーツオアシス もりのみやキューズモール店 (大阪府大阪市)

マンション



トラストネクサス 長府侍町 (山口県下関市)

結婚式場



ラグナヴェール金沢 (石川県金沢市)



ル・トロワ 新装工事 (北海道札幌市)



特別養護老人ホーム 東池袋 桑の実園 (東京都豊島区)

商業施設



西友朝霞根岸店 (埼玉県朝霞市)



ホテルルートイン 佐伯駅前 (大分県佐伯市)

スポーツクラブ&スパ ルネサンス稲毛 完成!

地域の健康づくりの拠点に

千葉県における基幹施設とも呼べる大ボリュームのスポーツクラブ。地域に根ざし、25年にわたって利用者から愛された 施設の建て替えにあたり、さらに充実したサービスを提供したいという施主様の思いにイチケンが応えました。



コンセプト

長年の実績をもつ施設の建て替えにあたり、 健康づくりのノウハウを活かした設備に加えて 新たに温浴施設を備える等、より一層内容の 充実した新施設を地域の皆様に提供したい との施主様の思いを受け、当社が設計・施工に あたりました。

高い天井とボールの見やすい配色を活かした テニスコートや、のびのびとリラックスできる 室内風呂と開放的な露天風呂など、利用者の ニーズをつかんだ設計となっています。

また、ゆとりある空間設計や、自然採光に よる明るさの確保、大人会員とスクール利用の ジュニア会員の動線を分離しスムーズな移動 を可能にする館内設計など、大人から子供ま で快適に利用できる空間を演出しております。

アパホテル&リゾート 東京ベイ幕張 イーストウイング 着工!

千葉・幕張のアパホテル&リゾート東京ベイ幕張の敷地内に、増築棟「イー ストウイング」を建設中です。

イチケンが設計・施工を担当し、平成28年10月の開業予定です。

建物の規模はS造11階建て延べ1万1.962㎡。客室500室のほか、女性専用の 露天風呂付き大浴場を設置します。



ICHIKEN ____ A

本社及び東京支店を移転いたしました。 一層の社業の発展を目指してまいります。

当社は、オフィス環境の整備による業務効率の向上及び大規模 災害発生時の事業継続の対応強化を図ること等を目的として、本社 及び東京支店を平成27年7月21日に以下の住所に移転いたしました。 これを機に、社員一同社業の一層の発展に精励する所存でござい ますので、今後とも倍旧のご支援を賜りますようお願い申し上げ

ます。 ●新 住 所

₹105-0023

東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング6階

電話番号 03-5931-5610(代表)



建災防からCOHSMS認定を取得いたしました。 さらなる安全衛生の向上に取り組んでまいります。

当社は、平成27年4月23日に建災防(建設業労働災害防止協会) から、労働安全衛生マネジメントを適切に運用する建設事業場で あると認められ、COHSMS(建設業労働安全衛生マネジメントシス テム)認定を取得いたしました。

協力会社の皆様と一体となって「計画(P)-実施(D)-評価(C)-改善 (A) |のサイクルで、安全衛牛水準の向上に努め、労働災害・事故の 撲滅を目指すとともに、快適な職場環境の維持や労働者の健康 増進に取り組んでまいります。

●COHSMSとは

厚生労働省が定めた「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」に基づき、建災防が「労働安全衛生マネジメン トシステム(COHSMS)ガイドライン|を導入し、同ガイドラインに沿って労働安全衛生マネジメントを適切に運用して いる事業場に対し、審査を経てCOHSMS認定書を交付するもの。

Construction Occupational Health and Safety Management System 総合建設業 労働安全衛生

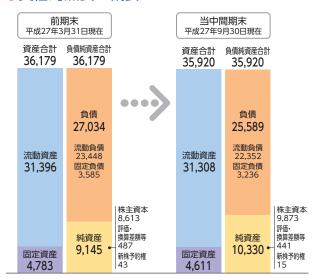


詳細な財務情報は

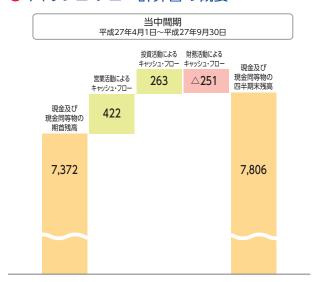
イチケン IR情報

Q検索

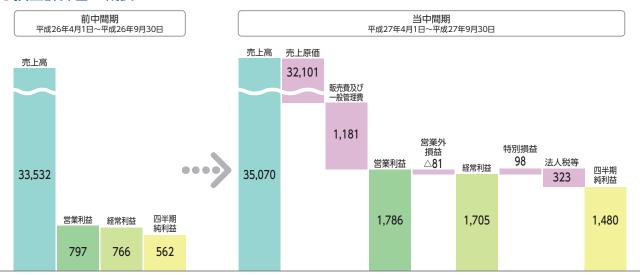
●貸借対照表の概要 (単位:百万円)



●キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



損益計算書の概要 (単位:百万円)



進 明

降 夫 明 ΙĒ ΙĒ 敏

英 昭

清

執行役員 磯 野

治

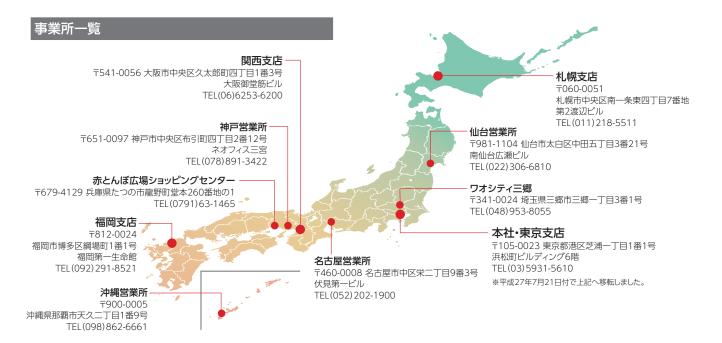
(平成27年9月30日現在)

会社	概要	
商	号	株式会社イチケン
創	業	昭和5年6月
資本	金	43億2,167万2,065円
営業種	目	総合建設業、貸ビル賃貸業、住宅・商業施設ディベロッパー事業、都市環境整備事業、複合商業施設企画・設計・施工・監理、専門店舗企画・設計・施工・監理
従業員	数	583名
取引銀	录行	三井住友銀行 三菱東京UFJ銀行 東日本銀行 他

代表取締役社長		長谷川		博	之	取網	取締役(社外)			藤	\blacksquare		
取	締	役	吉	\blacksquare		稔	取約	締役	(社	外)	武	内	秀
取	締	役	古	Ш	仁	_	常	勤闘	监查	役	木	村	隆
取	締	役	西	出	英	雄	監	查役	(社	外)	西	村	正
取締役(社外)			本	Ш	洋	ग	監査役(社外)			青	柳	正	
執征	亍役 員	Ę											
社長	執行	役員	長名	- (2	博	之	執	行	役	員	佐	4	英
常務	執行	役員	吉	\blacksquare		稔	執	行	役	員	野	﨑	
常務	執行	役員	古	Ш	仁	_	執	行	役	員	<u>So</u>	野	浩
							_						

常務執行役員 湯ノ口 智 治 執 行 役 員 山 □

出英雄



執行役員西

株式情報

(平成27年9月30日現在)

株式の状況	
発行可能株式総数	111,200,000株
発行済株式の総数 (自己株式105,893株を含む)	36,342,000株
株主数	3,608名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社 マルハン	11,714	32.32
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,544	15.29
株式会社 三井住友銀行	996	2.74
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC)	858	2.36
全国一栄会持株会	686	1.89
株式会社 三菱東京UFJ銀行	592	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	452	1.24
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	330	0.91
水野憲雄	303	0.83
日本トラスティ・サーと、ス信託銀行株式会社(信託口1)	288	0.79

- (注) 1. 持株数上位10名の株主について記載しております。
 - 2. 持株数は、1.000株未満の株式数を切り捨てて表示しております。
 - 3. 持株比率は、各株主の持株数(1.000株未満の持株数を含む)の自 己株式を除く発行済株式の総数に対する比率を記載しており、パー セントの数値は、小数点第2位未満を切り捨てて表示しております。
 - 4. 全国一栄会持株会は、当社の取引先企業で構成されている持株会 であります。

所有者別株式分布の状況



(注) 自己株式を除外した比率を記載しております。

●株主環元の状況

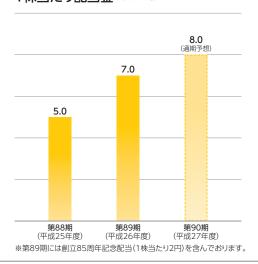
平成28年3月期の業績が当初予想を上回る 見込みとなりましたので、1株当たり期末配当 予想を8円といたしました。

当社は、事業の成長・拡大及び財務基盤の安定化に よる企業価値の向上と、株主様への直接的な利益還元 である配当の安定的な実施に重点を置き、利益の配分 に際しては、今後の成長・拡大に備えた内部留保の 充実を勘案して決定することを株主環元の基本方針と しております。

通期の業績予想につきましては、当中間期までの 業績動向を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益及び 当期純利益は、当初予想を上回る見込みとなりました。

これにより、期末配当予想を1株当たり8円に増額 修正させていただきました。

1株当たり配当金 (単位:円)



当社ホームページのご案内

http://www.ichiken.co.jp

当社ホームページでは、ニュースリリースをはじめ、詳しい事業 案内やIR情報など充実した情報を適時、掲載しています。





株主メモ

事業年度毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

日 定時株主総会の議決権 毎年3月31日

毎年3月31日

配当金受領株主確定日

なお中間配当を実施す る場合の株主確定日は

毎年9月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 〒137-8081

東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)

特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

公告方法 電子公告により行います。

(当社ホームページ)

http://www.ichiken.co.jp 但し、事故その他やむを得ない事由により電子公 告によることができないときは、日本経済新聞に掲

載して行います。

お知らせ

- ▶株式に関する住所変更等のお申出先について
- 1. 証券会社の口座に株式をお持ちの株主様

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

2. 特別口座に株式をお持ちの株主様

特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお 申出ください。

▶未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申出くだ さい。



株式会社イチケン

〒105-0023 東京都港区芝浦一丁目1番1号 浜松町ビルディング6階 電話(03)5931-5610 (9:00~18:00、土・円・祝円・年末年始を除く)





